

ドイツ文学わき道散歩(10)

イングリッド・バーグマンという女優がいる。「君の瞳に乾杯」という台詞が一世を風靡した映画『カサブランカ』に主演し、3度に及びオスカーを獲得した往年の名女優である。端正な容姿と独特の存在感で、ヨーロッパを舞台にした数多くの映画に出演しているが、その中にはE.M.レマルク作『凱旋門』、S.ツヴァイク作『不安』などのドイツ文学作品を原作とする映画も見られる。

レマルクと言えば、世界中で翻訳された処女作『西部戦線異状なし』が有名である。このベストセラー小説は、第一次世界大戦に出征した作者自身の体験をもとに描かれた戦争のリアルな姿が物議を醸し、のちに映画化された際はアカデミー賞作品賞を受賞した。そのレマルクがナチスに国籍を剥奪された上、著書の大半を焚書処分され、スイスを経て亡命したアメリカの地で発表したのが『凱旋門』である。この作品は、パリを舞台にナチスの強制収容所を脱走した主人公ラヴィックの愛と復讐の物語で、バーグマンはヒロインで失意に生きる無名の女優を演じている。そして、私生活でもスキャンダラスな話題を提供した彼女が、不義に悩む人妻を演じたのがツヴァイク原作の『不安』である。「悩む人妻」と言われるとメロドラマのように感じられるが、この作品はただのメロドラマではない。原作を活かした心理に訴えかける手法はとて鮮やかで、ドイツ文学の面目躍如、ツヴァイクの魅力を存分に味わうことが出来る映画と言えよう。

ツヴァイクもまた海外へ亡命した作家である。彼は他の亡命作家とは異なり、亡命後も名声と財力に事欠かなかったにも拘わらず、何よりも平和を求めあまり自ら死を選んだ。彼の言葉を迎ると、戦争の何たるか、ユダヤ人問題とは何であるのかを考えずにいられないのだが、それはまた別のお話。

1999年度ドイツ語学科卒業生 小林 ゆかり

インターミッション 14

K's Production 編著 「Googleの秘密」 (ソフトマジック)

現在インターネット上には3000万から4000万近くのWebサイトが公開されています。この膨大なWebサイトの中から有効な情報を探し出すのは大変な事です。そこで自分の知りたい情報を的確に収集するために有効なのが検索サイトと呼ばれるものです。検索サイトと言えば、「Yahoo! Japan」や「Google」などを思い浮かべる方が多いと思います。中でも「Google」はその検索精度の高さと使いやすさによって検索サイトの最大手である「Yahoo!」に迫る勢いで浸透しており、実際に情報収集の有益なツールとして活用されている方も多いと思います。

本書は「Google」の検索サイトとしての特徴、より便利な検索方法、あまり知られていない各サービスなど「Google」に関する様々な事項が紹介されています。コンテンツが「使いこなしの秘密」、「遊び方の秘密」などと題した内容別のチャプターに区切られていますから、自分の知りたい事が引きやすく、また画面、メッセージ等の図解も多いので視覚的にも理解がしやすい構成となっています。

「Google」に限らずどの検索サイトにおいても、いかにそのサイトが持つ機能を理解し、使いこなしていくかがインターネット上での情報収集には重要となります。そしてその能力を高めていければ、より効率的に、より短時間で情報を収集する事ができるようになります。これから各個人の情報収集能力がさらに問われる時代になっていく事を踏まえ、本書を参考に皆さんの情報収集能力を高めていってください。

(管理運営課 宮杉 浩)